

CONTENTS ◆春のつどいレポート ◆おくさわ今と昔 ◆ウオッチングに参加した方の感想 ◆緑の保全と生活環境についての活動 ◆街づくり協定について ◆グリーンサムのお庭拝見 ◆日暮さん流パンジーをカラスから守る方法 ◆会の名前に「土」がついているわけ ◆会からのお知らせ

## 春のつどい



春のつどいレポート

## まちなみウオッチング PART ③

4月21日(日)奥沢4・5丁目のまちなみウオッチングを行いました。

スタート地点は奥沢駅前のやけき広場、あいにくの雨でしたが15名以上の方が参加し建築家の近藤さんを先頭に街中にくりました。

最初に訪れたのが染井吉野の巨木のある4丁目26番の坂内さんのお宅、お隣やお向いまで枝を上げたみごとな桜ですが、そのために隣近所とのトラブルも絶えないとのことのお話に、都会で大きい木と共存する難しさを考えさせられました。すぐ近くにある建築家の内井さんの、瀟洒な洋風家屋の屋根につけられたロシア正教の瓦の十字架が印象的でした。そして純和風の数奇屋づくりの志村さんのお宅に、奥沢の住宅の多様性を見る思いがしました。

中村さんのお庭からはイングリッシュ・ガーデン風の手づくりの楽しさが伝わってきました。春雨のなか数か所を見たあと、参加者が感嘆の声をあげたのが6番地の大島さんのお宅、洋風建築に這い上がる黄色いモッコウバラと玄関の脇にある白いアメリカ花ミズキの調和がみごとでした。23番地の根岸・田部井・志村さん宅まで東西にはしる生垣に、生垣の美しさを堪能したあと、21番地の鷺山さんのお宅のバラの生垣と戦前の洋館がマッチしている景観に、ウオッチングの楽しさをかみしめました。

5丁目はず6番地の中村さんの緑に囲まれたお宅から。すぐお向いの中村さんの野趣のある樹木が茂るお庭と共に、印象に残りました。多くの人が称賛したのが3番地の棚橋さんのお宅、何本もの円柱をたくみに活かした家屋と屋根の稜線が清々しく感じられました。最後に訪れた近藤さんと福田さんのお宅ではそこに住まう人々が家と庭を大切にしているぬくもりが伝わってきました。

ウオッチングを終えたあと、東地区会館に集り参加者からのアンケートを集計し人気のあったところを選びました。宣伝不足だったのか雨天決行したためか4・5丁目からの参加者がほとんどなかったことを反省しています。(MNJ)



4丁目のお屋敷



5丁目の桜



4丁目の生け垣

# おくさわ今と昔

このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方と新しく移ってきた方々など  
毎回2人の住民の方が登場し、このまちにちなんだエピソードを語っていただきます。

## 少年時代の思い出 吉田 昌弘

私は奥沢で生まれて、早や60年の歳月が経ちました。私が少年の頃、奥沢の町は静かで実にのんびりとした雰囲気のある町でした。現在のバス通りも、バスが通る以前は牛や馬が荷車を引いてのんびりと闊歩していました。近所のお婆さんから聞いた話ですが、昭和10年頃には森田屋酒店(奥沢2丁目)の近くに銭湯(おふる屋さん)が一軒あったそうです。そのお婆さんは若い頃、暗い夜道(ちやうらん)を下げて銭湯に通ったそうです。今では想像もできません。

私が小学生の頃、サーカスがやって来て、弁天通り(現在の奥沢銀座通り)にサーカス小屋のテントを立てて興行をしたことがありました。私も数人の友だちと観に行ったのですが、空中ブランコなどハラハラする曲芸があったのを今でも鮮明に覚えています。夏には我が家の庭にもトンボが沢山飛んで来て、初秋の麦畑には(当時は麦畑がたくさんありました)赤トンボが群れをなして飛んでいました。青空には数羽のトンビがゆったりと輪を回して飛んでいました。夕焼けで美しくオレンジ色に染まった秋空の中を悠然と飛んでいた数羽のトンビのことが今でも懐かしく思い出されます。

やはり私が小学生の頃、友だち数人と奥沢神社の境内の樹に登って、神主さんに見つかって叱られたことなど、50年以上経った今でも昨日の事のように思い出されます。

おくさわの  
風に吹かれて  
気が付けば  
還暦すぎて  
昔なつかし



## 散歩が楽しみなまち

二丁目 井上さつき

昨年夏の盛りにここへ転居し、早九ヶ月。ずっと昔から住んでいるような気もしますが、外から、小さな家とやっとなを越えるエレガントなシマを見ると、やはりまだまだ新参者という気がいたします。

この町に住みたいと、土地を探し始めてから五年以上経ち、やっとな願叶いました。初めは、業者の方にも、「あの辺りは、めったに物件がでませんよ。」と言われ半ば諦めた時もありました。探し始めた当時は本当に空き地や建築中は少なかった様に思いますが、最近は随分と空き地や建築中が増えたと思うのは私だけでしょうか。

この辺りは、どの道を散歩しても花や緑が豊かで楽しみです。ご近所のお宅を、娘は花屋さんだと勘違いしていた事もあります。ついつい、私も出かける時は、方向が少し違っていてもそのお宅の前を通りたくなってしまいます。急いでない時は必ず立ち止まるし、運よくお手入れされている時は厚かましく語りかけ、いろいろと教えていただく事もあります。

これから夏の盛りまでは、私にとって初めての奥沢の風景になります。通りの木々が、あの家、この家のお庭が、どんな表情を見せてくれるのか、とても楽しみです。又、我家の庭に植えている、金木犀や山法師の苗木が塀の高さを越え、季節毎の表情を見せてくれる様になって、この通りの風景の一部となる日を心待ちにしております。



## 今回のウォッチングに参加した方々の感想

- はじめて歩く道や目にふれた風景があって、新鮮で楽しかった。
- これ以上木が切られずに、まちの雰囲気が変わらないと良いと思う。
- 大田区の工場地区から木の多いこの土地に移り住んだ時は、感無量だった。木を大切にしなければならぬという意識をしっかりと持って、この大切な住宅街を守っていかねばならないと思う。
- 戦前と戦後では近隣とのつきあいも変わり、花や緑を皆で楽しみ、その掃除をするという形がなくなりました。
- あまり立派なおやしきよりも、私たちでもまねができる庭づくりに親しみを感じ、よいと思った。雨にぬれた新緑が美しかったとか、次回も又歩きたいとの言葉に、企画した私達も励まされました。



## 緑の保全と生活環境についての活動

私たちの住む街を少しでも豊かな環境にしてゆくと、心地よさ、やすらぎ、気楽さ、そうしたやさしい生活環境をつくりだし維持してゆきたいと考えて活動しています。

奥沢の住環境も変化がさげられません。街は生きていますから変化は当然としてもその変わりようは所によっては驚くほどです。それと共に街を育んできた人々の共通の感情、連帯感といったものも希薄になってきました。かつては奥沢の風景をつくり潤いを与えてきた樹木もだんだんと伐られて少なくなってきています。枯れ葉の掃除が大変だ、樋が詰まる、他人の家の木のことでも迷惑だといった人達が増えてきているのでしょう。樹木の持主は近所から迷惑がられ身を縮める思いをしているといったことが多々あります。これは奥沢だけの現象ではなくあちこちでこうしたことが起きています。たしかに大きな樹から離れている方は鑑賞する立場ですから割り気楽ではありますが、近くの方々は多かれ少なかれ枯れ葉の掃除や樋の清掃、日照などでその始末にやりきれなさを感じるといったことも場合によっては無理からぬことであろうと思います。

考えてみますと都市化が進んだ結果、下水道が整備され道もアスファルト舗装になり、川も埋め立てられ、周りから春や秋の草花も消えてしまい灌木や雑草の繁っていた場所は農薬がまかれて虫一匹いない芝生広場になったり、枯れ葉の掃除が面倒だから樹を伐れといった声に押されて土や緑は減少してきているわけです。日本人の自然好きというのは少なくとも今日では架空

のことだったのかと思えるほどです。

この地域には世田谷区の保存樹以外にも街並みの景観をつくり、皆さんにやすらぎを与えてくれる樹木が数多くあります。こうした中から持ち主や周りの方々の理解を得て推奨樹木を選定し、保存に努めていく活動を進めていきたいと検討しています。樹木により影響をうけて困っているといったケースも中にはありますので良く話し合うことが大切です。当事者どうしては話しにくいこともこの会が間に入ることで円滑に調整できることもあります。

現在、街並みウォッチングを重ねながら勉強しているところです。

次いで街の歴史を刻んだ家や門柱など付属物の保存、継承といったことも大事なテーマであると考えています。住まいと道をつなぐ接点の扱い、例えば植え込みや生け垣、書庫や門塀、それらと調和した家のたたずまい、美しいお庭といった持ち主の人柄が偲ばれるような優れた例などについて街並み選奨としてみなさんの関心を高めていく方法を考えています。学習効果も期待できますし何よりも良いものを見ることは大切なことです。街並みの美観や環境の向上に皆さんの関心を高め、寄与していくことにつながると考えています。

美しい街並みや気持ちの良い環境などといったものは、なりゆきまかせでできるものではありません。季節感の味わえる街をみなさんと協力しながらつくりたい。幼児から樹や緑と楽しんで豊かな感性を持ち、周囲にも気をくばれる心を育てていくことの大切さを共通の認識とする人たちの輪が広がっていくことに希望を持っています。(近藤)

## 街づくり協定について

昨年の秋の集いで、奥沢の隣町、玉川田園調布では「地区計画」と「街づくり協定」が締結され、ミニ開発等に対する歯止めとなっているというお話が紹介されました。「地区計画」は、敷地の最低面積などを規定する踏み込んだ規定であるのに対して、「街づくり協定」は、容積を削ったり、余計なお金をかけなくても、元々ある立木を生かしたり、建物を建てる上でのちょっとした配慮をすることにより、より良い環境を生み出していくという紳士協定です。

「街づくり協定」による拘束力は弱いですが、良いアイデアやノウハウをパンフレットとして作成し、それを開発業者に渡したり、お住まいの方が家を新築、改築する時に利用することで、良好な環境を将来に渡って継承していくことを目標とします。

協定づくりは、行政との橋渡しなどについて、玉川田園調布の協定をつくった、「玉川まちづくりハウス」が協力をして下さることになり、また、奥沢交和会と

の連携、そして全住民に対するアンケート調査などをしながら、ほぼ全員の住民の方々の納得のゆく内容として提案をまとめていきたいと考えております。



先日、ニューヨークにいくつも点在するコミュニティガーデンを視察してきました。土地の安いときに市が空き地を買い上げ、地域住民が自由に庭づくりをするために解放して出来たものです。そこから住民の交流の輪が広がって街全体の治安が良くなり、快適な憩いの場となっていました。奥沢にもそのようなところが出来れば・・・と思うのですが。(堀内)

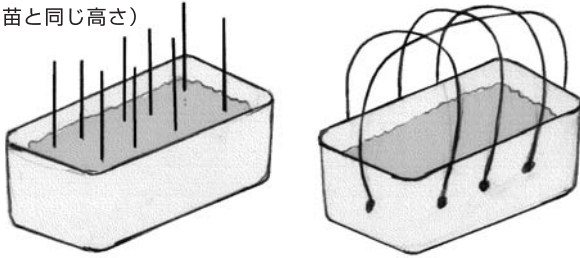
# グリーンサムのお庭拝見 Vol.7

「楽しみは、元気のない苗木を購入し蘇らせて育てる事」とほほ笑む日暮ご夫妻のお庭を訪問しました。2丁目20のお住居は花盛りのジャスミンの香りに包まれていました。お祖父様の盆栽だった松、無料配布の辛夷、ミモザは上野で、花水木は新宿三越で購入しスイ

## 日暮さん流 パンジーをカラスから守る方法

パンジーの苗が抜かれ、芯が干切られていたので、誰の仕業かと注意して見ていると犯人はカラスでした。そこで考えたのはこの方法です。

- (1) 尖らせた針金をさす (2) 図のように針金をわたす (苗と同じ高さ)



これでカラスは来なくなりました。どちらかという(1)の方が目立たなくてよいようです。

## 会の名称に「土」が入っている理由

先日「みどりはわかるが＜土＞はどういう意味があるのですか」と質問がありました。

私たちの願いは、どんな小さな場所でもいいから工夫して土を残してほしいのです。土があれば雨水もしみこみ、草や木が生えるもとになります。此の頃は駐車場のために玄関の前がコンクリートやタイルで敷きつめられています。車輪が入らない部分が土のままにしてあれば、緑が育つ場所になると思います。住宅地であればこそ享受できる、土にふれ土に親しむ暮らしをほんの少し実現できます。そして道ゆく人にも楽しみを分けてあげられます。

たとえ30cm四方ぐらいの土地であっても、プランターでは無理な花や木が植えられます。この作業は心の癒しになります。もちろん公園も広場もコミュニティガーデンも欲しいのですがこれは大事業なので、とりあえず少しでも土の場所を増やして私たちの自然を取り戻しましょう。こんな願いを込めて、生きるために大切な＜土＞を私たちの会の名にしました。

(柳島)

トピー・鉄せん・アザレア・むくげ・桃に梅・花梨・金柑・木瓜そして赤い花が2年に1回咲くカルミヤ、可哀相で食べられなかった百合、根からは橙色の花が咲き、小さい小枝を伸ばしている紅葉は鳥からの贈り物と、玄関前の草木はお2人の歴史を物語っていました。

アパートを取り壊した後の西側の庭に、丸と長方形の穴が掘ってありドキッとしましたが、生ごみと枯葉を入れて堆肥を作るための穴とわかり、ほっとしました。その横には何種類もの野菜と、苺が育っています。正面に結婚30周年を記念して植えた雄1本雌2本のキウイが蔓を這わせている棚がありました。雌は大きくなったのに雄は小さくて、やっと大きくなったと眺めていると、猫が扉から雄の芽をおいしそうに食べていてがっかりしてしまったとのことでした。

1時間以上もお庭巡りをしましたが、毎日の散水と水草への3日に1回の水の取り替えのために、お二人で旅行が出来ないのですって。でも花豆・瓢箪・朝顔はプランターの中で出番を待っているし、45年前八幡中学校でもらった黄色のアイリスは増え続けているし、今年の芍薬は3個の蕾をつけたし、梅の実には梅酒にしてと、日暮家のお庭は旅行よりずっと刺激的で楽しくて思い出と共に輝いていました。(遠藤)

## 会からのお知らせ

- 夏のつどいⅡは春に続いて、奥沢のすぐれた街並みをつくらせている建物や樹木や花をウォッチングします。  
6月8日(土)に奥沢1丁目・3丁目を歩く予定です。  
くわしくはチラシでお知らせします。
- 土とみどりを守る会の掲示板を2台増設しました。  
2丁目33番地の黒井さんの角と、5丁目11番地の毛利さんの横です。  
「バザーのお誘い」「お譲りします」「さがしています」などのお知らせにどうぞ御利用下さい。
- 土とみどりを守る会では、毎月定例会を開いています。  
会の趣旨にご賛同下さる方、ご意見をお持ちの方、得意分野でお手伝い下さる方どうぞご参加ください。
- 各欄への投稿記事を募っています。ご面倒な方には、こちらからインタビューに伺います。  
カット・イラストもお寄せ下さい。また、記事に関するご感想・ご意見をお聞かせ下さい。
- 土とみどりを守る会では、ガーデンシュレッダー(せんでい枝粉碎機)を貸し出しています。落とした枝をチップにしてお庭の土にまいたり肥料にできます。

## 編集後記

この時季は、フェンスに咲くバラを楽しく眺めながら散歩できるぜいたくな季節です。日まじに濃くなる緑と美しいバラの調和に魅せられて足を止めてしまいます。奥沢はいまちなあとしみじみと思います。

土とみどりを守る会 連絡先

奥沢2-19-9 長瀬雅義 5729-0126  
奥沢2-41-2 柳島尚子 3718-8558